



辰年

えがお

3年学年通信
第16号
1月9日



～3学期は中学校生活の集大成&次のステージに向けての準備期間～

年明け早々に、大規模な能登半島地震が発生し、大きな被害に見舞われ、大変悲しいニュースが飛び込んできました。みなさんも心を痛めたことと思います。

本日、3学期の始業式を迎えられましたが、お互いを気遣い合いながら、学校生活をスタートさせていきましょう。

いよいよ目標を実現させる3学期のスタートとなりました。先週末から私立の推薦入試が始まっています。明日は第3回総合テスト、また、私立一般入試まであと23日となりました。一日一日の過ごし方を考えていきましょう。

明日のテストは私立前最後の腕試しになります。この結果などを踏まえて公立受検校を相談することになります。下には「テストの受け方」を載せておきました。今一度確認し、十分に力を発揮してくれることを願っています。

2カ月後の3月11日(月)には卒業式を迎えます。進路決定に向けて努力を続けることと、卒業後の進路に向けて自分自身を磨き上げ続けることが大切です。進路が決定したら、終わりではなく、より一層努力が必要となります。節目の年となる布水中学校第40回の卒業生として残された中学校生活で、さらなる成長を期待しています。

【テストの受け方】

日頃の姿勢や態度がとても大事です。試験中の様子もチェックされていますよ。

合格



1. 準備は前日までに完了させる

(定規・コンパスを忘れた、シャーペンが壊れる、などのハプニングがあるかもしれません。

筆記用具は複数、そして鉛筆も準備しましょう。)

2. まず丁寧な字で記名する

(1秒を惜しんで書いたとしても、焦ってしまったら力を発揮できません。名前は書いたかなど不安になって次の試験に集中できないのも困ります。まず始めに丁寧に書いて心を穏やかにしましょう。)

3. できる問題から確実に取り組む

(できる問題を確実に正解することです。冷静に取り組んでみましょう。難しいと感じても、一度深呼吸をしていろいろな角度から考えてみると気づくこともあります。それでも難しい問題はほかの人もできないと思きましょう。)

4. 問題をじっくりと読み取る

(何を答えるのか。何で答えるのか。記号か文か、日本語か英語か、条件は、図には書いてないが文の中に出ていないか、など問題文をしっかりと読みましょう。)

5. 濃く丁寧に書く

(答案は、採点する人に見てもらうものです。ア or マ、3 or 5、アルファベットなど誰が見ても読み取れるように濃くはっきりと丁寧に書きましょう。)

6. 紛らわしい態度はしない

(隣の人が気になっても横を向かず、時間いっぱい問題を見直すこと。キョロキョロしたり、ポケットをゴソゴソしたり、ほかの人が見て紛らわしい態度はとらないこと。胸ポケットも空にすること。試験監督の先生と必要以上に視線を合わせないこと。ただし、何かある場合は挙手をして申し出ること。無理は禁物です。)

7. 時間いっぱいベストを尽くす

(解き終わっても見直しを丁寧にしましょう。答え方は問題に合っているか。解けなくても何か手掛かりはないか考え、書けることを記入し、時間いっぱい取り組みましょう。うつぶせになるような投げ出した態度はしないこと。)

8. 終わったテストに一喜一憂しない

(テストが終わった後に解答について友達と話をすると、自分の解答が不安になります。提出した解答用紙はどうにもならないので、気にしても仕方ありません。話題は次のテストのことにして、心穏やかに休み時間を過ごしましょう。)